

滋賀県の農林水産業の概要

特徴・取組

中央部に琵琶湖があり、北東部、東部、西部は1,000m級の山々に囲まれ、北西部と南部もやや低めの山地が広がっている。琵琶湖周辺はこれらの山々から流れる河川が琵琶湖に注ぎ込み、近江盆地を形成している。面積の半分以上は山地、6分の1は琵琶湖が占めている。

全域が内陸性気候。北部は冬期の降雪量が多く日本海側気候、南部は太平洋側気候と瀬戸内海式気候を併せ持つ。

西日本有数の工業県。令和5年の製造品出荷額は9兆1,749億円で全国第15位、主な産業は化学工業、電気機械、輸送機械、はん用機械、生産用機械でこれらの製造品出荷額が県内の半分以上を占める。

近隣の経済圏への高速道路等による広域輸送の利便性といった地理的特性により進展し、中心的産業になっている。

滋賀県は地形や気候が稲作に適していることから水田率が高く、米を中心に麦、大豆等を組み合わせた水田農業が主体である。

集落営農が広く展開されており、集落営農数は全国第6位であり、農地の担い手への集積状況は集積率69.1%と高く、全国第7位である。

「みずかがみ」や「コシヒカリ」をはじめとする環境こだわり米、オーガニック米など滋賀県ならではの特色ある米づくりの推進、麦、大豆、飼料用米などの地域の戦略作物の本作化、消費者、実需者ニーズに応じた園芸作物の生産、近江牛の地域内一貫生産体制の推進、水草除去や外来魚駆除、種苗放流等戦略的な農畜水産物の生産振興を図っている。

令和4年10月に県内の全19市町と共同で「滋賀県みどりの食料システム基本計画」を全国に先駆けて策定した。

琵琶湖漁業を代表する伝統的な「エリ漁」や湖魚が琵琶湖から遡上して産卵・繁殖する「魚のゆりかご水田」、琵琶湖の水質や生態系の保全に寄与する農業や森林保全など、滋賀の風土と歴史の中で生み出されてきた「琵琶湖と共生する農林水産業」が持続的な「森・里・湖に育まれる漁業と農業が織りなす琵琶湖システム」として平成31年2月に「日本農業遺産」、令和4年7月には「世界農業遺産」に認定された。

主な農林水産物

米

地形や気候が稲作に適しており、稲を中心とした水田農業が盛ん。滋賀県独自認定の環境こだわり米など琵琶湖の環境に配慮しながら栽培されている。
(収穫量全国17位)



肉用牛

肥育経営を中心に年々大規模化が進む。地理的表示(GI)に登録された「近江牛」は日本の牛肉食文化への貢献、肥育技術の高さから日本三大和牛と称される。



麦

地域ぐるみの土地利用調整により、ブロックローテーションが定着。作付の殆どが担い手に集積している。
(収穫量(小麦)全国6位)



茶

朝宮(あさみや)茶や土山(つちやま)茶等、甲賀市を中心に「近江の茶」として生産され、近年では輸出振興に力をいれている。



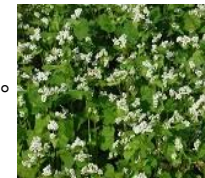
大豆

遺伝子組換えでない国産大豆の需要が高く、麦との二毛作栽培が中心である。
(収穫量全国10位)



そば

各地で栽培され、様々なそばが作られている。中でも伊吹山中腹で栽培されている在来種「伊吹そば」は強い香りが特徴で、GIにも登録された。



かぶ

近江の伝統野菜の認定を受けた赤丸かぶ、万木(ゆるぎ)かぶ等が栽培され、主な用途は漬物である。
(収穫量全国4位)



あゆ(こあゆ)

琵琶湖のあゆは、こあゆとして佃煮や天ぷらで人気があるほか、養殖、河川放流用の稚魚(あゆ苗)として出荷されている。



滋賀県内の各地域における農林水産物

高島地域

【農畜産物】 水稻、六条大麦、大豆、そば、キャベツ、だいこん、たまねぎ、かき、くり、伝統野菜（万木（ゆるぎ）かぶ）、肉用牛、乳用牛

【水産物】 こあゆ、びわます、あゆ（養殖）

大津・南部地域

【農畜産物】 水稻、小麦、はだか麦、大豆、みずな、こまつな、ほうれんそう、キャベツ、ねぎ、みぶな、メロン、だいこん、きゅうり、トマト、ぶどう、なし、伝統野菜（山田ねずみ大根、坂本菊、守山矢島かぶら、近江かぶら）、採卵鶏

【水産物】 こあゆ、せたしじみ、淡水真珠

甲賀地域

【農畜産物】 水稻、小麦、大豆、茶、キャベツ、たまねぎ、かぼちゃ、はくさい、大かぶ、いちじく、伝統野菜（下田なす、杉谷なすび、水口（みなくち）かんぴょう、杉谷とうがらし、鮎河（あいが）菜、弥平とうがらし）、乳用牛

湖北地域

【農産物】 水稻、小麦、六条大麦、大豆、小豆、そば、キャベツ、ブロッコリー、はくさい、たまねぎ、かき、ぶどう、伝統野菜（赤丸かぶ、伊吹大根）

【水産物】 こあゆ、びわます、いさざ、すじえび、あゆ（養殖）

湖東地域

【農産物】 水稻、小麦、はだか麦、大豆、そば、キャベツ、こまつな、なし、伝統野菜（小泉紅かぶら、秦荘（はたしょう）のやまいも、大藪かぶら）

【水産物】 こあゆ、にごろぶな、あゆ（養殖）

東近江地域

【農畜産物】 水稻、小麦、六条大麦、二条大麦、はだか麦、大豆、小豆、そば、キャベツ、大かぶ、はくさい、だいこん、菜の花、ブロッコリー、トマト、きゅうり、たまねぎ、かぼちゃ、ぶどう、なし、伝統野菜（日野菜、北之庄（きたのしょう）菜）、豊浦（といら）ねぎ、）、採卵鶏、肉用牛、乳用牛、

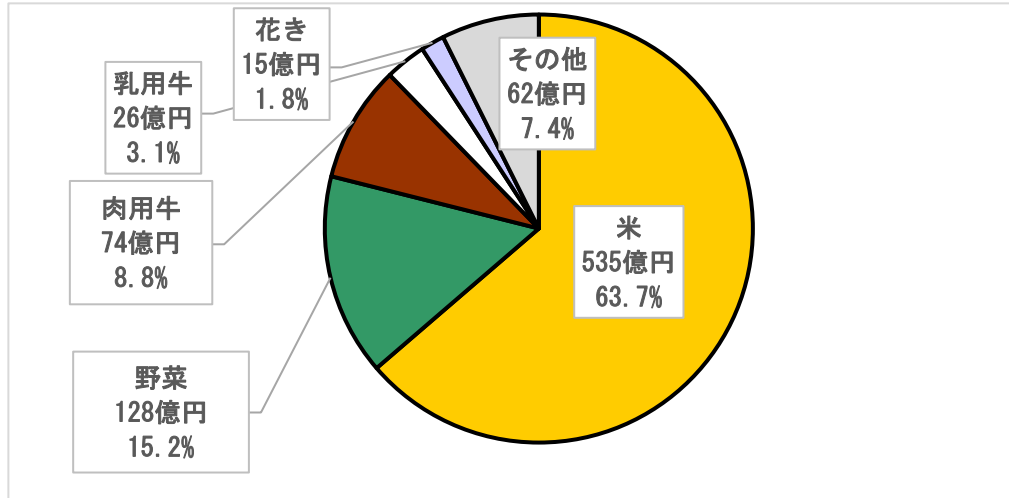
【水産物】 こあゆ、びわます、ほんもろこ、淡水真珠



滋賀県の農業（1）

- ・農業産出額は840億円で全国38位。うち米が535億円（63.7%）、野菜が128億円（15.2%）、畜産が114億円（13.6%）。
- ・農畜産物の生産状況は、六条大麦、小豆が全国3位、かぶ、みずなが全国4位、小麦が6位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区分	年次	滋賀県	全国	全国順位
水稲	収穫量	R7 159,700 t	7,790,000 t	17
六条大麦	収穫量	R7 6,200 t	59,000 t	3 *
小麦	収穫量	R7 23,900 t	1,031,000 t	6 *
大豆	収穫量	R6 5,220 t	252,400 t	10
そば	収穫量	R6 361 t	40,400 t	14 *
小豆	収穫量	R7 18 t	45,100 t	3
キャベツ	収穫量	R6 8,160 t	1,294,000 t	23
かぶ	収穫量	R6 4,270 t	94,300 t	4
みずな	収穫量	R6 1,320 t	34,100 t	4
ばら	出荷量	R6 4,160 千本	171,300 千本	11

出典：「作物統計」、「特定作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」

農業産出額のデータ

区分	滋賀県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	840 億円 (100.0)	107,801 億円 (100.0)	38
米	535 億円 (63.7)	25,524 億円 (23.7)	17
麦類	7 億円	582 億円	8 *
雑穀	1 億円	87 億円	15
豆類	10 億円	621 億円	6
いも類	5 億円	2,565 億円	43
野菜	128 億円 (15.2)	25,510 億円 (23.7)	43
果実	11 億円 (1.3)	10,112 億円 (9.4)	47
花き	15 億円	3,423 億円	42
工芸農作物	5 億円	1,577 億円	23
その他作物	7 億円	583 億円	22 *
畜産	114 億円 (13.6)	36,654 億円 (34.0)	38
肉用牛	74 億円	7,861 億円	28
乳用牛	26 億円	10,035 億円	38
生乳	25 億円	8,937 億円	38
豚	2 億円	7,567 億円	45
鶏	9 億円	10,170 億円	45
鶏卵	8 億円	5,764 億円	45
ブロイラー	x 億円	4,259 億円	- *
その他畜産物	3 億円	1,021 億円	19
加工農産物	2 億円	565 億円	20

出典：「令和6年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和6年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注：()は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和8年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

滋賀県の農業（ 2 ）

- ・耕地面積は4万9,600haで全国28位。うち田が4万6,200ha、畑が3,460ha。
- ・農業経営体数は1万720経営体で全国38位。うち法人経営体数が666経営体で24位。
- ・国、市町村認定及び都道府県認定経営体数は2,185経営体で全国30位。うち法人数が613法人で19位。
- ・農業生産関連事業は、農家民宿の年間販売（売上）金額が1億円で全国11位、農業経営体数は10経営体で20位。

耕地面積

区分	滋賀県	全国	全国順位
耕地面積	49,600 ha	4,272,000 ha	28
田	46,200 ha	2,319,000 ha	18
畑	3,460 ha	1,952,000 ha	46
普通畑	2,760 ha	1,118,000 ha	41
樹園地	652 ha	248,600 ha	47
牧草地	48 ha	585,900 ha	41
参考) 総土地面積	4,017.38 km ²	377,979.74 km ²	38

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和8年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区分	滋賀県	全国	全国順位
荒廃農地面積	1,985 ha	256,667 ha	36

出典：「令和6年度の荒廃農地面積(令和7年3月31日現在)」

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	滋賀県	全国	全国順位
農業経営体数	10,720 経営体	836,054 経営体	38
法人経営体数	666 経営体	33,819 経営体	24
総農家数	16,720 戸	1,394,135 戸	40
販売農家数	9,894 戸	792,808 戸	38
参考) 世帯総数	571,374 世帯	55,830,154 世帯	28
集落営農数	645 集落営農	13,952 集落営農	6

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和7年集落営農実態調査結果(令和7年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区分	滋賀県	全国	全国順位
担い手への集積面積	34,281 ha	2,627,068 ha	19
集積率	69.1 %	61.5 %	7

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和6年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	滋賀県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	8,367 人	1,036,228 人	41
男	6,169 人	659,332 人	41
女	2,198 人	376,896 人	43
65歳以上	6,450 人	721,311 人	40
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	77.1 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	2,185 経営体	212,136 経営体	30
法人数	613 法人	29,684 法人	19
参考) 人口総数	1,413,610 人	126,146,099 人	26

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和7年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	滋賀県	全国	全国順位	
農産加工	総額	3,653 百万円	1,006,107 百万円	44
	事業体数	470 事業体	26,910 事業体	30
農産物直売所	総額	11,164 百万円	1,134,381 百万円	43
	事業体数	180 事業体	20,960 事業体	39
観光農園	総額	332 百万円	39,113 百万円	32 *
	農業経営体数	70 経営体	4,350 経営体	19
農家民宿	総額	144 百万円	4,933 百万円	11 *
	農業経営体数	10 経営体	770 経営体	20
農家レストラン	総額	919 百万円	39,900 百万円	19 *
	事業体数	20 事業体	1,390 事業体	23

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

滋 賀 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は9.4億円で全国43位。うち木材生産が4.5億円、栽培きのこ類生産が4.8億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国42位、乾きくらげ類が全国3位、薪が13位。

林業産出額

区 分	滋 賀 県	全 国	全国順位
林業産出額	9.4 億円	4,769.8 億円	43
木材生産	4.5 億円	2,369.4 億円	42
栽培きのこ類生産	4.8 億円	2,322.7 億円	39

出典：「令和6年林業産出額」

林野面積

区 分	滋 賀 県	全 国	全国順位
林野面積	203,798 ha	24,744,214 ha	38
国有林	19,240 ha	7,117,059 ha	33
民有林	184,558 ha	17,627,155 ha	37
人工林面積	84,923 ha	10,059,386 ha	38

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

林業経営体数

区 分	滋 賀 県	全 国	全国順位
林業経営体数	183 経営体	23,300 経営体	37
法人経営体数	45 経営体	3,813 経営体	30

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

林産物の生産状況

区 分	滋 賀 県	全 国	全国順位
素材生産量	46 千m ³	19,763 千m ³	42
針葉樹	44 千m ³	18,398 千m ³	41
すぎ	28 千m ³	11,716 千m ³	41
ひのき	14 千m ³	3,019 千m ³	31
広葉樹	2 千m ³	1,365 千m ³	37
薪	生産量 2,124 層積m ³	99,161 層積m ³	13
竹材	生産量 3 千束	879 千束	14
乾きくらげ類	生産量 10 t	131 t	3
生しいたけ	生産量 284 t	61,959 t	33

出典：「令和6年木材統計」、「令和6年特用林産基礎資料」

製材工場数

区 分	滋 賀 県	全 国	全国順位
製材工場数	60 工場	3,547 工場	30
製材用素材の入荷があった工場数	58 工場	3,492 工場	31
国産材のみ	56 工場	3,013 工場	25
国産材と輸入材	2 工場	386 工場	32

出典：「令和6年木材統計」

滋 賀 県 の 水 産 業

・水産物の生産状況は、内水面漁業のあゆが全国3位、内水面養殖業のあゆが5位。

漁業産出額

区 分	滋 賀 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	0 億円	14,785 億円	-
海面漁業	0 億円	8,894 億円	- *
海面養殖業	0 億円	5,891 億円	- *

出典：「令和6年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	滋 賀 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	0 経営体	65,662 経営体	-
内水面漁業経営体数	430 経営体	4,076 経営体	1

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	滋 賀 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	0 人	121,389 人	-
男	0 人	109,757 人	-
女	0 人	11,632 人	-

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	滋 賀 県	全 国	全国順位
漁船隻数	0 隻	109,284 隻	-
動力漁船	0 隻	58,907 隻	-

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	滋 賀 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	- t	3,589,121 t	- *
海面漁業漁獲量	- t	2,786,195 t	-
海面養殖業収獲量	- t	802,927 t	- *
内水面漁業・養殖業生産量	953 t	47,046 t	12 *
内水面漁業漁獲量	639 t	17,915 t	5
あゆ	209 t	1,414 t	3
内水面養殖業収獲量	314 t	29,131 t	14
あゆ	216 t	3,487 t	5

出典：「令和6年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	滋 賀 県	全 国	全国順位
水産加工	総額	0 百万円	193,147 百万円
	事業体数	0 事業体	1,160 事業体
水産物直売所	総額	0 百万円	34,259 百万円
	事業体数	0 事業体	780 事業体
漁家民宿	総額	0 百万円	5,440 百万円
	漁業経営体数	0 経営体	540 経営体
漁家レストラン	総額	0 百万円	13,511 百万円
	事業体数	0 事業体	380 事業体

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

滋賀県の農林水産業の話題等（1）

「森・里・湖（うみ）に育まれる漁業と農業が織りなす琵琶湖システム」が世界農業遺産に認定

「琵琶湖システム」について

- ・ 令和4年7月18日、国連食糧農業機関（FAO）により、琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業「森・里・湖（うみ）に育まれる漁業と農業が織りなす琵琶湖システム」が世界農業遺産に認定された。
- ・ 「琵琶湖システム」とは、伝統的な琵琶湖漁業の代表格である「エリ漁」をはじめ、湖魚が琵琶湖から遡上し、水田で産卵・繁殖する「魚のゆりかご水田」、また、琵琶湖の水質や生態系の保全に寄与する「環境こだわり農業」や「有機農業」、さらに、湖魚をご飯に漬け込んで作る「ふなずし」などの「食文化」、水源をかん養する「森林保全活動」など、持続可能性の維持・向上につながる営みのことで、湖国・滋賀県では、千年以上に渡って受け継がれている。



「琵琶湖システム」のロゴマーク

○つながりを生む「びわ湖魚グルメ」

「琵琶湖システム」が育む豊かな食材を身近に食す機会を創出するため、世界農業遺産認定を契機に「びわ湖魚グルメ」を誕生させた。



○ふなずし

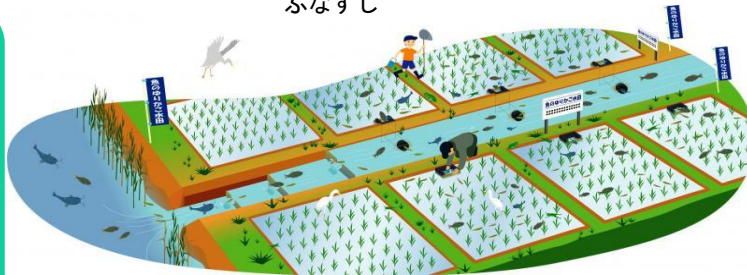
ニゴロブナをご飯に漬けこんで発酵させる保存食で、贈答品や祭礼の供え物としても用いられ、こうした食文化や祭礼は、人々の絆の醸成にもつながっている。



ふなずし

○魚のゆりかご水田

世界でも琵琶湖にしかない「ニゴロブナ」等の在来魚が、琵琶湖および内湖等と水田を行き来し、産卵・育成できるかつての湖辺域の水田環境を取り戻すことにより、地域活性化に貢献する取組。



「魚のゆりかご水田」イメージ

○エリ漁

魚の習性を利用し、湖岸から沖に向かって矢印型に網を設置して「ツボ」と呼ばれる部分に魚を誘導して捕獲する伝統的な待ち受け型の漁法。この漁法は、必要な量だけ漁獲でき、漁業者は限りある水産資源に配慮した漁を続けている。



「琵琶湖システム」のイメージ

滋賀県の農林水産業の話題等（2）

しがの新しいブランド農産物

○ 滋賀県初のオリジナルいちご「みおしずく」

滋賀県農業技術振興センターで育成したいちご品種を「みおしずく」と命名し、令和5年度から本格的な生産・販売を開始した。適度な酸味で際立つさわやかな甘味、フローラルな香りが特徴で、県内はもとより首都圏でも取り扱いが拡大している。

○ 近江米新品種「きらみずき」

「きらみずき」は栽培方法を「オーガニック栽培」「化学肥料、殺虫・殺菌剤不使用栽培」に限定し、コンセプトである“こだわる人が選ぶ「おいしさ」と「やさしさ」”による好循環が生まれるよう、生産・流通・販売の一体的な取組を進めている。



※ 写真は滋賀県提供

滋賀県内の地理的表示（G I）登録産品

○ 近江牛（オウミウシ、オウミギュウ） 産地：滋賀県内

平成29年12月15日登録

特性：融点が低い不飽和脂肪酸であるオレイン酸を多く含んでおり脂質の口溶けが良い。約400年前から生産が続く最も古い銘柄牛のひとつであり、日本の牛肉食文化への貢献や肥育技術の高さから日本三大和牛とも称される。

○ 伊吹そば（イブキソバ）、伊吹在来そば（イブキザイライソバ） 産地：滋賀県米原市

令和元年9月9日登録

特性：伊吹山中腹で栽培されてきた在来種で主に直径4.5mm以下の小粒なそば。甘皮（種皮）の部分が大きく、それに由来する緑の色調や香りが強く出る。また、うま味と甘みは他の優良品種と比べても遜色がなく、製粉業者やそば店から高く評価されている。

○ 近江日野産日野菜（オウミヒノサンヒノナ） 産地：滋賀県蒲生郡日野町

令和4年10月21日登録

特性：ほっそりとした形と酢のみで安定的にさくら色を発色するほど根の上部まで濃い赤紫の色調を呈している。

○ 水口かんぴょう（ミナクチカンピョウ） 産地：滋賀県甲賀市水口町

令和6年3月27日登録

特性：調理した際に、やわらかく、味がよく染み込むのが特徴。江戸時代から「かんぴょう」の名産地とされ、春の祭礼などで食べられている郷土料理「宇川ずし」には欠かせない食材としてふんだんに使われるなど、地元の食材として代々受け継がれ地域の食文化として根付いている。

